



Japan Society for Bioscience,
Biotechnology, and Agrochemistry

2014.6

会告

カレンダー・・・K-1
お知らせ・・・K-3
支部だより・・・K-6

CALENDAR カレンダー

会
告

期日	講演・会合等名称（会場）、《共催等》、太字＝本会関連
2014年（平成26年）	
6/3（火）	さんわか第21回ワークショップ「ここまでできる！ 次世代のバイオ解析技術」（名古屋）
6/5（木）	公益財団法人発酵研究所第8回助成研究報告会（豊中）
6/5（木）	千里ライフサイエンス技術講習会「CRISPR/Casシステムによるマウスゲノム編集」（大阪）
6/6（金）	日本ゾル-ゲル学会第11回セミナー「新規な有機-無機ハイブリッド材料の設計と機能発現」（東京理科大）《協賛》
6/6（金）	新規素材探索研究会第13回セミナー（横浜）《共催》
6/6～7（金～土）	シンポジウム「モレキュラー・キラリティー2014」（仙台）《共催》
6/7（土）	第24回万有福岡シンポジウム（九大）《協賛》
6/7（土）	極限環境生物学会第15回シンポジウム（東工大）
6/9～13（月～金）	第10回幼若ホルモン国際会議（つくば）《協賛》
6/10～11（火～水）	第105回有機合成シンポジウム（東工大）《共催》
6/11～12（水～木）	（公財）日本ビフィズス菌センター第18回腸内細菌学会（東大）
6/11～13（水～金）	日本ケミカルバイオロジー学会第9回年会（阪大）《後援》
6/12～27（木～金）	劇団俳優座公演「先生のオリザニン」（東京）《協賛》
6/13（金）	うまい味研究会公開シンポジウム「情動と食—適切な食育へ向けて—」（東京）
6/13（金）	国立環境研究所公開シンポジウム2014低炭素社会に向けて～温室効果ガス削減の取り組みと私たちの未来～（東京）
6/14（土）	第25回記念万有仙台シンポジウム（仙台）《協賛》
6/14～15（土～日）	第9回トランスポーター研究会年会（名市大）《後援》
6/16（月）	日本アミノ酸学会主催第4回産官学連携シンポジウム～豊かな生活を支えるアミノ酸の科学～（東大）《協賛》
6/18～19（水～木）	平成26年度前期（春季）有機合成化学講習会（東京）《共催》
6/19～20（木～金）	第20回地下水・土壤汚染とその防止対策に関する研究集会（和歌山）《後援》
6/21～22（土～日）	文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究（研究領域提案型）「生合成マシナリー：生物活性物質構造多様性創出システムの解明と制御」（平成22年～26年度）第7回公開シンポジウム（東工大）《後援》
6/23（月）	2014年「創薬シンポジウム」天然物（ハーブなど）から化粧品、農薬、医薬品の開発をめざす（琉球大）《後援》
6/24～25（火～水）	2014年産業技術総合研究所中部センター オープンラボ（理研）《協賛》
6/27（金）	構造活性フォーラム2014（阪大）《協賛》
6/27（金）	国立環境研究所公開シンポジウム2014低炭素社会に向けて～温室効果ガス削減の取り組みと私たちの未来～（奈良）
6/28（土）	第51回化学関連支部合同九州大会（北九州）
6/28（土）	平成26年度JABEE農学系分野審査講習会（東大）《協賛》
7/2～4（水～金）	第49回天然物化学談話会（倉敷）《協賛》
7/5（土）	第26回万有札幌シンポジウム（北大）《協賛》
7/5（土）	日本農芸化学会中部支部第170回例会『環境調和・食と農芸化学』（静岡県大）
7/7～9（月～水）	第51回アイソトープ・放射線研究発表会（東大）《協賛》
7/9（水）	日本農芸化学会創立90周年・第40回化学と生物シンポジウムー「私たちの健康と食品」ー（東大）
7/12（土）	日本農芸化学会関西支部例会 第485回講演会・ミニシンポジウム（阪府大）

期日	講演・会合等名称(会場)、《共催等》、太字=本会関連
7/17(木)	第42回日本食品微生物学会学術セミナー(横浜)
7/17~18(木~金)	日本プロテオーム学会2014年会(JHUPO第12回大会)(つくば)《後援》
7/17~18(木~金)	セルロース学会第21回年次大会(鹿児島大)《協賛》
7/19(土)	日本農芸化学会東北支部シンポジウム「植物ホルモン研究の“New Era”—分子レベルでの新展開—」(山形大)
7/19(土)	第4回天然物パワーシンポジウム「海外学術調査と天然物化学」(東大)《協賛》
7/25(金)	生物工学フォーラム「先端技術による新たなバイオテクノロジー」(理研)《協賛》
7/26(土)	日本学術会議公開シンポジウム「昆虫における刺激の受容と反応」(仮題)(東京)
7/28(月)	千里ライフサイエンスセミナー「上皮極性シグナル制御とその異常による病態」(大阪)
8/3~5(日~火)	第4回高校生バイオサミットin鶴岡(鶴岡)《後援》
8/5~7(火~木)	国際カルノシン・アンセリン学会(星葉大)《後援》
8/7~8(木~金)	日本ブルーゲル学会第12回討論会(つくば)《協賛》
8/7~8(木~金)	第28回キチン・キトサンシンポジウム(順天堂大)《協賛》
8/8~9(金~土)	第19回日本病態プロテアーゼ学会学術集会(大阪)
8/10~12(日~火)	第33回日本糖質学会年会(名大)《共催》
8/27~28(水~木)	第27回におい・かおり環境学会(文京学院大)《協賛》
9/2~6(火~土)	第27回国際ポリフェノール会議2014(名大)《共催》
9/3~5(水~金)	第65回コロイドおよび界面化学討論会(東京理科大)《協賛》
9/4~6(木~土)	第23回日本バイオイメージング学会学術集会「公開講座」並びに「学術講演会」(阪大)《協賛》
9/10~12(水~金)	第44回複素環化学討論会(札幌)《共催》
9/11~12(木~金)	第31回シクロデキストリンシンポジウム(島根)《共催》
9/11~12(木~金)	第59回リグニン討論会(福井工大)《共催》
9/17(水)	プロテイン・アイランド・松山国際シンポジウム2014(愛媛大)《後援》
9/18~19(木~金)	平成26年度日本農芸化学会西日本支部大会(佐賀)
9/19(金)	2014年度日本農芸化学会関西支部大会(第486回講演会)日本農芸化学会創立90周年・関西支部創立80周年記念大会(奈良、奈良先端大)
9/20~22(土~月)	第58回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会(和歌山大)《共催》
10/15~17(水~金)	第62回レオロジー討論会(福井)《協賛》
10/15~17(水~金)	2014地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展(東京)《協賛》
10/15~17(水~金)	第56回天然有機化合物討論会(高知)《共催》
10/22~24(水~金)	第51回ペプチド討論会(徳島大)《協賛》
11/4~6(火~木)	第53回NMR討論会(阪大)《共催》
11/8(土)	日本ラクトフェリン学会第6回学術集会(つくば)
11/13~14(木~金)	第42回構造活性相関シンポジウム(熊本)《後援》
11/14~15(金~土)	第47回酸化反応討論会(崇城大)《共催》
11/22~24(土~月)	第55回高圧討論会(徳島大)《協賛》
11/24~26(月~水)	アジア環境化学国際会議(International Conference of Asian Environmental Chemistry 2014)(タイ)《後援》
11/27~29(木~土)	第41回有機典型元素化学討論会(宇部)《共催》
2015年(平成27年)	
3/26~29(木~日)	日本農芸化学会2015年度(岡山)大会(岡山、岡山大)

メールアドレス登録のお願い

本会では、マーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るため、会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。

本会庶務係(shomu@jsbba.or.jp)まで、氏名、登録用メールア

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化通信によって外部からの盗聴を防いでおります。

2015年度（平成27年度）大会のお知らせ

日本農芸化学会2015年度（平成27年度）大会を下記の予定で開催いたします。

岡山で初めての大会開催です。全国各地から大勢参加ください。

会期：2015年（平成27年）3月26日（木）～29日（日）

会場：

【授賞式／受賞講演／農芸化学「化学と生物」シンポジウム／懇親会】

2015年3月26日（木）

ホテルグランヴィア岡山

（〒700-8515岡山市北区駅元町1番5

<http://granvia-oka.co.jp/access/>

【一般講演・展示会・シンポジウム・ランチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等】

2015年3月27日（金）～29日（日）

岡山大学津島キャンパス（〒700-8530 岡山市北区津島中
http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_4.html

『岡山大学では敷地内禁煙が実施されています。学会参加者の皆様のご理解とご協力よろしくお願ひいたします。』

大会実行委員会：【委員長】稻垣賢二（岡山大学大学院環境生命科学研究科）【副委員長】上村一雄（岡山大学大学院環境生命科学研究科）【総務代表】神崎 浩（岡山大学大学院環境生命科学研究科）

問合せ先：2015年度大会実行委員会

総務代表 神崎 浩 hkanzaki@okayama-u.ac.jp

“農芸化学”を基軸とした異分野融合研究と新技術創成 日本農芸化学会2015年度大会シンポジウム課題の募集

日本農芸化学会2015年度大会は2015年（平成27年）3月26日（木）～29日（日）の4日間、岡山大学津島キャンパス（岡山市北区津島中）を主会場として開催されます。大会最終日3月29日（日）に、1課題約3時間の枠でシンポジウムを開催予定です。つきましては、シンポジウム課題を広く会員の皆様から公募しますので、積極的なご応募をお待ちしております。今回のシンポジウムでは、ご提案いただいた課題から20課題程度を採択させていただく予定です。シンポジウム課題の採択可否につきましては、シンポジウム委員会で選考し、8月末頃までに課題応募者宛てにその結果をご連絡いたします。

その他の不明な点は、シンポジウム担当までお問合せください。

【シンポジウム課題公募要領】

応募期限：2014年7月31日（木）

応募申請に必要な記載事項：1) 課題（仮題でも可）、2) 世

話人の氏名・所属・年齢（2～3名）、3) 企画趣旨と概要（400字程度）、4) 講演者案（氏名・所属・会員と非会員区分）、5) 海外講演者の有無、6) 予想される聴衆人数、7) 希望会場規模〔(1) 100人未満収容の会場〕または〔(2) 100人以上収容の会場〕、8) その他の参考となる事項、9) 世話人代表者（国内正会員）の氏名と連絡先、（郵便番号、所在地、所属、電話番号、ファックス番号、E-mailアドレス）

応募先E-mail: nouka-sympo@okayama-u.ac.jp

（シンポジウム専用E-mailアドレス）

※メールの件名を、「農芸化学会大会シンポジウム応募」として送信ください。折り返し受領通知をお送りします。受領通知がない場合は再度送付ください。

問合せ先：【シンポジウム担当】代表：木村吉伸（岡山大学大学院環境生命科学研究科）

E-mail: yosh8mar@okayama-u.ac.jp

さんわか第21回ワークショップ 「ここまでできる！ 次世代のバイオ解析技術」

高速DNAシークエンス解析技術をはじめとするバイオ分野におけるさまざまな解析技術の著しい進歩は目を見張るものがあります。しかしながら、これらの新規技術を実際に使いこなすために必要な基本原理の理解が不十分であることから、これらを用いて具体的に何ができるのかがわからない、という研究者の声が多いのが実状です。そこで、今回のワークショップでは、FACS、高速DNAシークエンサー、イメージングアナライザーなど次世代のバイオ技

術の仕組みや使用法、さらにこれらを活用した研究の応用事例について先生方にご講演いただき、新規バイオ解析技術への理解を深めるとともに今後の研究の発展に向けた活発な議論を行いたいと考えております。
日 時：2014年6月3日(火)13:00～18:00
場 所：野依記念学術交流会館 (<http://www.rcms.nagoya-u.ac.jp/facilities/nch.html>) 名古屋駅からのアクセス 地下鉄 東山線本山駅下車、名城線乗換名古屋大学駅下車2番出口より、徒歩5分

講演者・講演企業：早稲田大学理工学院、竹山春子氏／名古屋大学大学院理学研究科、鈴木孝征氏／GEヘルスケアジャパン株式会社／日本ベクトンディッキンソン株式会社
参加費：ワークショップ1,000円、技術交流会一般3,000円、学生1,000円
問合せ先：名古屋大学大学院生命農学研究科 児島孝明（さんわか幹事）
E-mail: kojimat@nuagr1.agr.nagoya-u.ac.jp

創立90周年記念・農芸化学「化学と生物」シンポジウムについて

創立90周年記念・農芸化学「化学と生物」シンポジウムを下記要領で開催します。

詳細決定次第、学会ホームページ (http://www.jsbba.or.jp/event/event_sympo_kasei.html) および本誌会告に掲載します。

タイトル：私たちの健康と食品

日 程：2014年（平成26年）7月9日（水）

場 所：東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール、多目的スペース
(東京都文京区本郷7-3-1、本郷キャンパス赤門付近)

講 演：清水 誠（東京大学名誉教授、日本農芸化学会会長）

「機能性食品研究の過去・現在・未来」

伏木 亨（京都大学大学院農学研究科教授）

「おいしさは究極の食品機能」

佐藤隆一郎（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

「食の機能による健康寿命延伸」

展 示：農芸化学技術賞受賞企業による企業活動展示

問合せ先：公益社団法人日本農芸化学会事務局

Tel. 03-3811-8789

E-mail: 90th-kasei40@jsbba.or.jp

2014年度大会講演要旨集オーブンアクセスのご案内

2014年3月27～30日に明治大学において開催されました2014年度大会の大会講演要旨集（2014年3月5日公開）は、学会ウェブサイト上で2014年5月15日よりオーブンアクセスとなりました（URL: http://www.jsbba.or.jp/MeetingofJSBBA/meeting_of_jsbba.html）。

パスワードを入力することなく、どなたでもご利用いただけます。また、年次大会発表データベースに2014年度大会発表データをマージしましたので、プログラム検索についてもどうぞご活用ください（http://jsbba.bioweb.ne.jp/jsbba_db/index.html）。

学校教育における農芸化学の普及活動補助の募集

日本農芸化学会広報委員会では、「小学校、中学校、高等学校など学校教育全般を対象とする、農芸化学に関するセミナー・講習会等開催補助の募集」を行います。

補助の対象：本学会の支部または会員個人（採択後に入会されても可）を開催世話人とし、支部単位の大きな企画から、会員個人が単独で行う企画まで、広い活動を補助の対象とします。

補助の目的：わが国では、少子化が進み、同時に若者の科学離れ・理科教育の危機が問題となっております。このような状況下において、日本農芸化学会においても「農芸化学」という社会に有用な優れた研究分野があることを、特に若い人に知ってもらいたいという考え方から、小・中・高校生な

らびに学校の教員を対象に、現役の研究者が直接最新の学問的成果をやさしく解説し、知的興奮を味わってもらうことを目的としています。農芸化学の面白さ・楽しさ・奥の深さを知つてもらうような企画をお待ちしています。たとえば、小・中・高校生ならびに学校の教員を大学や企業の最新の研究施設に招き、バイオテクノロジーの最先端の実験に可能な範囲で参加してもらうなどの大きい企画から、大学の教員や大学院生、企業の研究員などが、小・中・高校へ出かけ簡単な授業をするなどの企画も応援します。また、年次大会、支部大会や支部例会に高校生の自然科学に関する課外活動の成果を発表していただく場を提供するなどの企画も歓迎します。

補助の額：1件につき20万円まで。補助金の使途は、主に運営費とし、特に詳しい規定は設けていません。

応募方法：開催世話人が所定の申請書に必要事項を記入・押印し、期限までに本学会事務局広報係宛に郵送で提出してください。申請書は、学会ホームページ (http://www.jsbba.or.jp/science_edu/outreach/) よりダウンロードしてご利用ください。

応募締切：2014年6月30日（月）当日消印有効。

選考：2014年7月頃。結果は、広報委員会にて審査後速やかに通知します。

報告：補助を受けた開催責任者は、活動終了後、簡単な実施内容の報告と会計報告書を広報委員長宛にご提出いただきます。

第64回国際会議出席費補助金交付候補者募集要項

対象：海外で開かれる農芸化学諸分野の国際会議出席希望者。ただし、2014年10月1日から2015年3月31日までに開かれる国際会議で発表を予定している方。

補助金の金額：1件20万円以内、4件程度（総額80万円）

応募方法：所定の申請書に必要事項を記入

のうえ、当財団宛てに郵便にてご送付ください。

※申請には必ず会議での発表予定論文の要旨および招請状を添付してください（要旨は英文、和文いずれも可。コピー可）。用紙はA4判を用いること。

応募の締切：2014年7月31日（木）当日消

印有効

補助金の交付：2014年9月

応募先・申請書請求先：〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
公益財団法人農芸化学研究奨励会事務局
Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920
E-mail: acrf_info@jsbba.or.jp

日本農芸化学会協賛 劇団俳優座公演「先生のオリザニン」のご案内

このたび、本会の創設者で初代会長である鈴木梅太郎博士を題材としたお芝居「先生のオリザニン」が、2014年6月12日～27日の期間に東京日本橋の三越劇場（東京都中央区日本橋室町1-4-1）で公演されることとなり、日本農芸化学会は本公演を縁あって協賛いたすこととなりました。

鈴木梅太郎博士の研究者生涯が脚本化されたこのお芝居は、本学会所属の研究者らが脚本・舞台を監修しており、会員の皆さんにもぜひともご覧いただきたくご案内申し上げます。

入場料は一般6,500円、学生4,000円でござ

りますが、俳優座様のご厚意により、農芸化学会の会員の方は割安価格（一般5,800円、学生3,500円）でご提供くださることとなりましたので、ご興味がおありの方は、ぜひこの機会にお出かけください。

割安入場券のお申し込み方法は、学会ホームページから所定の予約申込書をダウンロードいただき、会員番号、氏名および入場券送付先ご住所を明記のうえ、FaxあるいはE-mailにて学会事務局宛（Fax. 03-3815-1920, E-mail: soumu@jsbba.or.jp）に送信してください。

観劇ご希望日の2日前の午後3時までに

本学会事務局に到着するようお申込みいただきますと、入場券の確保が可能でございます（例：公演最終日6月27日のチケットは6月25日午後3時まで）。料金のお支払いは劇団俳優座様へ直接お支払いいただきます。

会員の皆さまからの多くのお申し込みをお待ちしております。どうぞ奮ってお申込みください。

詳しくは学会ホームページ (http://www.jsbba.or.jp/news/umesan_haiyuza.html) あるいは劇団俳優座サイト (<http://www.haiyuza.net/>) をご覧ください。

小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、本会広報委員会では、小学校・中学校・高等学校への出前授業を開始いたします。学校関係者の皆さま、たくさんのご応募をお待ち申し上げます。

趣旨：日本農芸化学会の会員（科学者や知識人など）が、講師として小・中・高等学校へ出向き、農芸化学（動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを化学的な考え方に基づき研究する学問）にかかる授業を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意義に学びます。

授業対象：小学生・中学生・高校生、教員の団体ほか

付帯事項：講師派遣料は本会負担（ただし必要な備品などはご準備いただきます）

授業時間：1~2コマ授業（1コマ45分）

授業形態：クラス単位（複数クラス可）

対象地区：日本全国（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州地区）

申込方法：申請書を郵送またはメール添付

(PDF)にてお申込みください。申請書受付後、本会で調整し、派遣講師と授業内容をお知らせします。

申請書請求・問合せ先：日本農芸化学会事務局広報係 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階 Tel. 03-3811-8789 E-mail: soumu@jsbba.or.jp

その他：申込多数の場合は個別に相談のうえ、適宜実施させていただきます。

会費の領収書について

会費の領収書は本会ホームページの会員 Mypage (<https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/>) からダウンロードできます。領

収書をご入用の方は、上記ページにログインし、ご自身の会費領収書をダウンロードしてくださいます。

問合せ先：日本農芸化学会事務局会員係

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2F

Tel. 03-5803-9561

E-mail: kaiin@jsbba.or.jp

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 新入会・登録情報変更などのURLについて

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
新規入会、登録情報確認・変更のURLは下記のとおりです。

登録情報を確認、変更される場合、会員ID（会員番号）とパスワードが必要です。

ご登録いただきました会員データに基づき学会誌の発送、会費・購読料の請求を

行っておりますが、登録データは外部に漏れることがないよう十分注意を払っております。

会員登録の変更につきましては、Web上では変更できない個所も定めておりますので、E-mailまたはFaxでも受け付けております。

この際、登録内容をご確認いただき、E-mailなどご登録いただいたないようでしたら是非ご登録下さいますようご協力く

ださい。

[日本農芸化学会ホームページURL]

<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は「パスワード再発行」を行ってください。取得されたパスワードを独自のパスワードに変更する場合は「パスワードの変更」で手続きすることができます。

《事務局会員係》 Tel. 03-5803-9561, Fax. 03-5803-9562, E-mail: kaiin@jsbba.or.jp



支部だより

第51回化学関連支部合同 九州大会研究発表募集

共催：繊維学会西部支部ほか7化学関連支部

期日：2014年6月28日（土）

会場：北九州国際会議場（北九州市小倉北区浅野3-9-30）

発表申込期間：2014年3月10日（月）～28日（金）

予稿原稿締切：2014年5月9日（金）

申し込み方法、予稿原稿の執筆要領およびプログラムの詳細は今後、大会ホームページ (<http://www.godo-kyushu.jp>) で公開します。

品および酸化ストレス関連因子による生体タンパク質の翻訳後修飾に関する研究」、柴田貴広（名大院・生命農学研究科）「脂質メディエーターに関する化学生物学的研究」、吉村和也（中部大・応用生物学部）「植物 Nudix hydrolase ファミリーの生理機能に関する研究」 ○シンポジウム『環境調和・食と農芸化学』：稻垣栄洋（静大農・フィールド科学教育研究センター）「地域の生態系機能を活用した農業生産」、横山真弓（兵庫県大・自然・環境科学研究所）「ニホンジカ管理と持続的食資源としてのシカ肉活用をつなぐ最前線」、若林敬二（静岡県大・食品環境研究センター）「がんの発生と抑制に影響を及ぼす食事性因子」 ○懇親会 詳細は支部ホームページ (<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>) にて

問合せ：河原崎泰昌（静岡県大・食品栄養科学部）
Tel. 054-264-5540
E-mail: kawarsky@u-shizuoka-ken.ac.jp

プログラム：【ミニシンポジウム】「細胞・生物情報ネットワークを紐とく」接合菌の内生細菌におけるクオラムセンシング（甲斐建次、大阪府大院・生命環境）、疫病菌交配ホルモンの生物有機化学（矢島 新、東京農大・応生科）、ROSによる植物の根の生長を制御する細胞機能転換転写ネットワーク（塚越啓央、名大・高等研究院 兼生命農学）【日本農学賞受賞講演】環境保全型の高選択的生物制御物質に関する先駆的研究（林 英雄、大阪府大名誉教授）

【一般講演】

一般講演申込期間：5月13日（火）～6月13日（金）

要旨締切：6月20日（金）

参加費：無料

懇親会：一般講演終了後

問合せ先：大阪府立大学大学院生命環境科学研究科

山地亮一（Tel. 072-254-9453）

E-mail: yamaji@biochem.osakafu-u.ac.jp

詳細は <http://www.kansai-jsbba.jp> をご覧ください。

日本農芸化学会中部支部 第170回例会『環境調和・食と農芸化学』

日時：2014年7月5日（土）13:00～

会場：静岡県立大学 看護学部棟13411講義室

プログラム：○農芸化学奨励賞受賞講演：石井剛志（静岡県大・食品栄養科学部）「食

日本農芸化学会関西支部例会 第485回講演会・ミニシンポジウム

日時：2014年7月12日（土）13:00～

会場：大阪府立大学学術交流会館（大阪府堺市中区学園町1-1）

**日本農芸化学会東北支部
シンポジウム
「植物ホルモン研究の“New Era”
一分子レベルでの新展開—」**

日時：2014年7月19日（土）
 場所：山形大学農学部301講義室
 世話人：三橋 渉（山形大学農学部）
 連絡先：〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23
 Tel. 0235-28-2868
 E-mail: wmitsu@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

詳細は、決定次第支部ホームページ上でご案内いたします。

**平成26年度日本農芸化学会
西日本支部大会**

期日：2014年9月18日（木）～19日（金）
 会場：HOTEL グランデはがくれ（シンポジウム・特別講演・懇親会）
 佐賀大学農学部（一般講演）
 実行委員長：神田康三（佐賀大学農学部）
 シンポジウム：「ファージ研究の新展開」
 松崎茂展（高知大学医学部）「バクテリオファージ療法の現状と可能性」、大塚裕一（獨協医科大学）「ファージ療法・もう一つのチャレンジ」、土居克実（九州大学大学院農学研究院）「極限環境ファージの特性—ゲノム構造から展開する生命進化と産業応

用—」

特別講演：村田 晃（佐賀大学農学部名誉教授）「有用嫌気性細菌におけるファージ研究のあゆみ」

一般講演：演題申込締切：2014年7月11日（金）、講演要旨締切：2014年8月8日（金）
 詳細は支部ホームページ (<http://www.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west/>) をご覧ください。
 問合せ先：九州大学大学院農学研究院（角田佳充）Tel. & Fax. 092-642-2854

**2014年度日本農芸化学会
関西支部大会（第486回講演会）
日本農芸化学会創立90周年・
関西支部創立80周年記念大会**

日時：2014年9月19日（金）13:00～18:30、
 9月20日（土）9:00～17:00
 場所：第1日目 東大寺文化センター金鐘ホール（奈良市水門町100）、第2日目 奈良先端科学技術大学院大学（生駒市高山町8916-5）

プログラム：第1日目・シンポジウム「食と生命を科学して80周年～そして未来へ」（13:00～18:30）「祝賀挨拶」（清水 誠、日本農芸化学会会長）、「健康を守るトランスポーターABC蛋白質」（植田和光、京都大学・iCeMS・農学研究科）、「肥満・エネルギー代謝と食品機能」（河田照雄、京都大学・農学研究科）、「ビッグデータバイオロジーとしての生態学と医食同源の体系化」

（金谷重彦、奈良先端科学技術大学院大学・情報科学研究科）、「ポリフェノールサイエンスへの挑戦と創造」（辻村英雄、サントリーホールディングス）、「酒は百薬の長」を実証する 清酒およびその副産物の機能性」（秦 洋二、月桂冠）、特別講演「食品機能研究30年の回顧と展望—その光と闇」（吉川正明、京都大学名誉教授・生産開発科学研究所）、2014年度日本農芸化学会賞受賞特別講演「酸化還元酵素・電極共役系を基盤とした生物電気化学研究の展開」（加納健司、京都大学・農学研究科）、「支部長挨拶」（内海龍太郎、関西支部長）・懇親会（奈良国立博物館地下レストラン 19:00～20:30）

第2日目・一般講演、2014年度日本農芸化学会功績賞受賞特別講演「食品製造における速度過程が関与する現象の工学的の解析」（安達修二、京都大学・農学研究科）、「植物機能高度活用のための分子基盤開発」（横田明穂、奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科）

参加・講演申込方法：詳細は <http://www.kansai-jsbba.jp/> をご覧ください。

講演申込締切：2014年8月11日（月）

講演要旨締切：2014年8月18日（月）

連絡先：奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 高木博史
 （Tel. 0743-72-5420, E-mail: hiro@bs.naist.jp）